

法務省東京矯正管区

〈刑務作業広報誌〉

2024

No.006

横浜
刑務所編

Lavoro

～ラヴオーロ～



刑務作業の御依頼はこちらへ

窓 口	電 話 番 号	主 な 業 種
法 務 省 矯 正 局	03-3580-8814	
東 京 矯 正 管 区	048-601-1607	
水 戸 刑 務 所	029-273-9796	木工、洋裁、金属、その他
栃 木 刑 務 所	0282-27-9611	洋裁、金属、その他
喜連川社会復帰促進センター	028-686-3111	木工、金属、その他
前 橋 刑 務 所	027-223-3024	木工、印刷、金属、革工、その他
千 葉 刑 務 所	043-232-6079	木工、印刷、洋裁、金属、革工、その他
市 原 刑 務 所	0436-36-6001	金属、その他
東日本成人矯正医療センター	042-500-5271	その他
府 中 刑 務 所	042-362-2101	木工、印刷、洋裁、金属、革工、その他
横 浜 刑 務 所	045-842-0040	木工、印刷、洋裁、金属、革工、その他
横 須 賀 刑 務 支 所	046-842-4983	その他
新 潟 刑 務 所	025-286-5626	木工、金属、その他
甲 府 刑 務 所	055-241-8878	木工、洋裁、金属、革工、その他
長 野 刑 務 所	026-248-1114	洋裁、金属、革工、その他
静 岡 刑 務 所	054-261-2886	木工、印刷、洋裁、金属、その他
川 越 少 年 刑 務 所	049-242-0226	木工、金属、その他
松 本 少 年 刑 務 所	0263-32-3093	木工、印刷、洋裁、金属、その他
東 京 拘 置 所	03-3690-6681	その他
立 川 拘 置 所	042-540-4191	その他

メールでのお問合せ先

Kyosei-sagyou@i.moj.go.jp

- 件 名：刑務作業依頼
- 記載事項：①会社名
②住所
③連絡先（電話番号、FAX 番号、E-Mailアドレス）
④担当部署、担当者名（ふりがな）
⑤作業内容、希望人員、希望地域など
⑥その他要望事項

表紙のLavoro（ラヴォーロ）とは
イタリア語で「働く」という意味
です。

—取材先—
横浜刑務所

—企画・取材・編集—
東京矯正管区成人矯正第三課

—発行—
東京矯正管区

〒330-9723
さいたま市中央区新都心 2-1
さいたま新都心合同庁舎 2 号館 13 階
【TEL】048-600-1500 【FAX】048-600-1505



本誌のバックナンバーは
こちらから▼



工場紹介

印刷工場



官公庁の他に一般のお客様からも印刷物の依頼を承っており、金額や納期などに応じて見積もりや仕様の提案もお客様からご相談を受けます。



校正（原稿打ち）から製本まで一連の工程を自所加工することができ、印刷内容やデータが外に漏れる心配がありません。

木工工場



当所の製品である「つみきハウスB型」は人気絶えない商品です。木のぬくもりを活かした子供が楽しめる知育玩具となっています。



民間企業だけでなく、地域の自治体からも依頼を受けて、木工製品の製造を行っています。木材の切断加工等から組み立て、塗装と一貫した作業で、妥協なく丁寧仕上げます。

洋裁工場



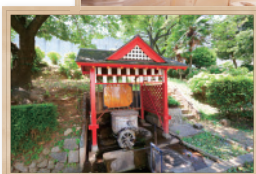
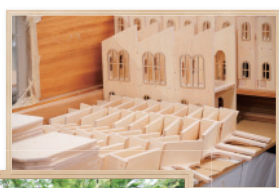
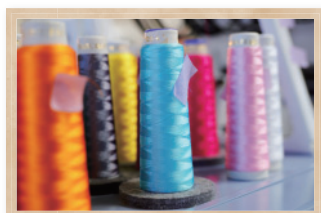
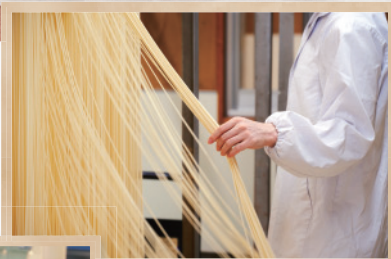
刺繍機による作業風景。高速で稼働する機械は「一糸入魂」。江戸火消しポーチの刺繍デザインはこの機械が主役です。



ミシンや刺繍機などを用いて、様々な製品を縫製しています。移り変わる社会のトレンドを常に意識し、新たな刑務所作業製品の開発にも注力する、探求心と向上心が自慢です。

横浜刑務所

施設紹介



横浜刑務所は、主に犯罪傾向が進んでいる成人男性受刑者を収容しており、安政2年に設置された下田奉行所内に「下田牢屋敷」が併設されたことが、横浜刑務所のルーツとされています。関東大震災後に現在地である笹下において、新営工事が行われ、昭和11年に完成、昭和61年に全体改築工事に着手し、平成11年に現在の庁舎となりました。

当所では、受刑者の円滑な社会復帰に向けて、多様な刑務作業の実施だけでなく、職業訓練、各種教育、就労支援にも積極的に取り組んでいます。



周辺を住宅地、公共施設等に囲まれた刑事施設であるため、庁舎をはじめとする外観は、周辺の環境に調和するよう配慮されています。



栗村 技官

● プロフィール

大学卒業後に奈良少年刑務所で法務技官作業専門官として拝命しました。

同施設での勤務を経て、平成30年から横浜刑務所木工工場において、刑務作業の企画業務や作業指導などを担当しています。

● 作業指導への思い

当所の木工工場では、知育玩具や地域の学校で使用する下駄箱など、子供が使う木工製品も多く製作しているので、工夫を凝らして丁寧に製品を仕上げるよう指導をしています。また、受刑者が木工作業を通じて、技能の習得だけでなく、仕事をしていく上で必要な職業能力を学び、社会復帰するための一助となれるよう日々の指導に取り組んでいます。



4 麺掛け作業

带状に生地を麺掛け機に通すと、麺線と呼ばれる麺の太さにカットされます。

3 生地をまとめる

圧延ロール機に生地を流し込み、生地を带状にして巻き取ります。巻き取った带状の生地は更に2回圧延ロール機に通され薄くします。



2 生地の完成

この段階では、まだバラバラの状態です。



5 止め乾燥

切出された麺線は伸びやすいため、表面を乾燥させて安定させます。



6 一晚乾燥させる

麺の水分が急激に抜けると麺が変形してしまうので、ゆっくりと水分を抜いていきます。



8 切断作業2

切断された麺を生産ロットごとに取り分け、選別作業に引き続きます。



7 切断作業

自動切断機で規定の長さに切断します。



9 選別作業

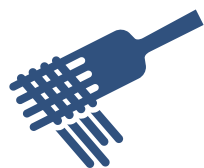
規定寸法に切断された全ての麺の裏表を目視検査し、合格した麺を袋詰めします。



GOAL

10 完成

「横浜刑務所で作ったパスタ」として、「出所」します。



横浜刑務所

製麺工場

昭和61年から平成11年まで行われた横浜刑務所の現地改築に伴い、平成8年、横浜刑務所の特色であった石けん製造作業を横須賀刑務所に移転することが決定し、これに代わる特色ある作業を検討していたところ、横浜商工部から「給食用の乾麺の製造を行ってみてはどうか。」との意見が寄せられたことを機に、横浜市麺業協同組

合・製粉会社等の協力を得て、平成10年10月に全国で唯一の製麺工場として稼働を開始しました。平成16年に学校給食用うどんの受注が終了したものの、その後も刑務所作業製品として「細うどん」、「ひやむぎ」、「干しひらめん」及び「中華めん」を生産し、令和5年に「パスタ」の生産を開始しました。



矯正展でも
大人気!

横浜刑務所 パスタ の出来るまで

START



1 ミキシング

デュラムセモリナ粉と食塩水をミキサーで混ぜ合わせます。



乾燥室に設置している温湿度計と乾燥室上部が温度計、下部が湿度計になっており、温度と湿度を細かく確認しています。右上の写真のとおり、麺を一晩かけて乾燥させる際に、加湿器で湿度を上げながら、除湿器で徐々に湿度を下げています。急に乾燥すると、麺が反ったり、自重で麺が落下してしまいます。



製麺室

ミキサー、圧延ロール機2台、麺掛け機の4台の機械で製麺しています。季節や天候により、日々生地温度等が変化の中、状態を見ながら3名の作業者が製麺しています。



小山田 作業専門官

● プロフィール

大学卒業後、庭師として造園会社等で勤務し、一級造園技能士を取得しました。30歳で転職し、大阪刑務所で採用されてから3回の転勤を経て、平成29年から製麺工場の作業専門官として勤務しています。

● 作業指導への思い

平成10年に「学校給食用うどん」から始まった全国の刑務所で唯一の製麺工場で作業指導できることの誇りと責任を感じながら勤務しています。刑務作業で食品を製造する難しさはありますが、衛生管理と品質を高めるために手抜きや手順の省略ができないことから、一つ一つの作業を真剣に、そして丁寧に行うように指導しています。

横浜刑務所

展示場

横浜刑務所の隣に付設している刑務所作業製品展示場では、本誌で紹介した当所で製作している製品のほか、全国の刑務所で製作している様々な製品を取り揃えています。

また、一年を通じて、横浜市内などで展示即売会も開催していますので、ぜひご来場ください（開催時期や回数は年度によって異なります。）。



広い店内には全国の刑務所作業製品を多く展示しています。



安くて丈夫な刑務所製の家具や丁寧に縫い上げた洋裁製品を展示しています。



当所の大人気商品である乾麺と横須賀刑務支所のブルースティックの展示です（どちらも大人気商品のため、売り切れている場合があります。）。



横浜刑務所 刑務所作業製品展示場

〒233-8501 神奈川県横浜市港南区港南4-2-2

開場時間：10時～12時15分、13時～16時（土日祝日を除く）

（棚卸等により、臨時で閉場している場合がありますので、お問い合わせください）

TEL: **045-840-1169**

全国の刑務所作業製品は、インターネット販売サイト「e-shop」からもお求めいただけます。



編集後記

本誌をお読みいただきまして、ありがとうございます。「刑務所でパスタ!」、「ふるさと納税の返礼品!」など読者の方が知らない、横浜刑務所の意外な取り組みを知っていただけたかと思います。ぜひ、当所の製品をお手に取っていただき、刑務所作業製品の品質の高さを実感していただけると幸いです。





横浜市 ふるさと 納税

横浜刑務所

江戸火消しポーチ



令和4年度から横浜市のふるさと納税返礼品として当所の刑務所作業製品が登録されています。返礼品の製作作業は、受刑者に社会とのつながりを持たせ、社会の一員として居場所と出番を与えることで、自分も社会に貢献しているという充実感や責任感の涵養^{かんよう}を図ることができるだけでなく、地域の方々に刑務所や受刑者への理解や協力を深めていただく、大切な矯正広報の一つとなっています。

横浜刑務所製麺詰め合わせ



つみきハウス B型